科目名（Eng）	組織論（Organisation Theory）								
担当教員	田渕　義英								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報学科	5	前期	必修	2	30	専門	C	○

目標基準との対応	
	福島高専の教育目標との対応：（B－2），（C－1）， 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2),3) JABEE基準1(1)との対応：(d)-(1),(d)-(4),(h)
授業の概要と方針	近代社会における組織の意味と役割，その限界と可能性について理解する．
到達目標	①近代社会における組織の成り立ちを理解する． ②企業，家族など，現実の組織の問題を，自分の問題として理解する． ③組織の限界と可能性について，自分なりの理解と意見を持つ．

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
前期	1	組織とはなにか	組織の基本的概念，成り立ち，意義などを理解する．	特になし
	2	近代社会と組織	近代社会における組織のフォーマル化（公式化）について理解する．	前回授業の復習と課題の提出
	3	組織と個人	近代的個人の成立（個人化）と，組織の関係について理解する．	
	4	エージェンシー化	組織人格と個人人格の違いを知り，エージェンシー論の観点から組織を理解す	
	5	組織と支配	近代的組織のヒエラルキーと，その支配原理を理解する．	
	6	組織と企業	近代社会における企業家の役割を，とりわけ時間配置の観点から理解する．	
	7	組織と経済	組織と経済発展の関係を，規模の経済の観点から理解する．	
	8	近代組織の限界	ここまでの議論を振り返りながら，近代組織の限界について考察し，理解を深め	
	9	組織とマネジメント	近代組織の限界を，マネジメント問題として理解する．	
	10	組織と多様性	近代組織の限界を，合理性仮定（rational assumption）の限界として理	
	11	組織の影響力	社会をよりよくするための力としての，組織の影響力について理解する．	
	12	フラット化	近代組織のピラミッド型に対して，現代組織のフラット化現象について理解す	
	13	組織と家族	社会におけるもっと基本的な組織単位である家族について理解する．	
	14	公式組織と非公式組織	近代組織社会では見落とされがちであった非公式組織の重要性を理解する．	
	15	社会的協力と組織	社会的協力を達成するという組織の重要な役割について理解する．	

試験について	実施しない
評価方法	授業への取り組みと，課題への取り組みを総合的に評価する．
教科書	坂井素思，2010，『社会経済組織論』放送大学教育振興会．
参考書	必要に応じて指示する。
関連科目	
履修上の注意	予習は特に必要ない．ただし，毎回復習のための課題の提出を課す．また，最終授業後に最終レポートの提出を課す． 自学自習の確認方法：課題の提出による．